

2013年度 事業報告

1. 概観

カンボジア事業では、住民の主体性と活動の持続性が高まるよう子どもとおとなが互いに助け合える地域づくり「子どもにやさしい社会づくり」を行うことにより子どもたちの権利実現をはかりました。

国内では、東京で開催された「子どもの権利条約フォーラム」の実行委員として、子どもたちの現状や取り組みを伝え、子どもの権利普及に努めました。

[事業]

1. 2012年に引き続き、スバイリエン州におけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身売買・児童労働防止事業をシーライツ独自で実施しました。
2. 具体的には、ベトナムの国境沿いにあるタナオコミュンという地域で、子どもたちが、特にベトナムに出稼ぎや物乞いに出されることなく学校に通い続けられるよう、地域のおとなと子どもを対象とした啓発活動と生計向上支援活動を行いました。
3. 啓発活動では、各学校でピア・エドューケーター（子ども代表）を選出したり、地域において子どもクラブを結成して、子どもから子どもへ、子どもの権利や人身売買・児童労働の危険についての知識を広めるピア・エドューケーションを実施しました。
4. 子どもたちが互いに助けあう子どもクラブを4つの村で結成しました。
5. 子どもたちが学びを深め、子どもの権利を伝える活動を自分たちで計画したり実施したりすることができるよう、図書室とチャイルド・アクティビティ・ルームのチャイルド・フレンドリー・スペースを設置できるよう地域住民から運営委員会を選出し、建設に着手しました。
6. 生計向上支援活動では、子どもをベトナムに出稼ぎに出したり、法律で禁じられている違法な出稼ぎに従事したりしている家族や、貧困のため今後出稼ぎに出るリスクが高い世帯に直接農業技術やライフスキル(生きている力をつけること)の指導を行うキーファーマー(農民代表)を育成したり、農業活動での収入向上や地域全体が活性化することをめざして、住民主体の農業組合を結成しました。
7. アフェシブ・フェア・ファッションで、人身売買や性的搾取の被害に遭った女性たち、母親たちが安心して働き、経済的に自立できるよう、また、彼女たちの子どもが併設の保育室で、その成長に合わせて十分なケアを受けられよう、保育事業を支援しました。
8. 日本からカンボジアへ渡航する旅行者を対象に、ストリートチルドレンを守るためのアクションについて広めるチャイルドセーフ・ネットワーク・キャンペーン事業を継続しました。
9. 国内では、「子どもの権利条約フォーラム in 東京」の実行委員として、子どもの権利の大切さを広く知ってもらい、特にカンボジアと福島の子どもの権利状況を発信する役割を担いました。

[組織運営]

1. 今後のカンボジア事業について、理事会で生計向上事業を含めるかどうかについて検討した結果、シーライツのミッションである子どもの権利の啓発活動を重点的に行うことを決めました。
2. カンボジア駐在員の一時帰国の機会に、助成金や大口寄付をいただいている企業や団体を訪問

し、最新のカンボジアの状況や、カンボジア事業について講演しました。

3. 大手コンサルティング会社の指導のもと、NPO 法人のコンサルティングを専門に行うユースチーム「180Degrees」と一緒に、支援者拡大の戦略を考えました。
4. ユースボランティアが主体となるチャイルド・ライツ・プロジェクトを本格的に開始するため、コアメンバーで準備のための話し合いを重ねました。

2. 開発途上地域の子どもの支援事業

(1) カンボジア・プロジェクト

<目的>

子どもたちを搾取や暴力から守れるようにおとなの力を高め、子どもにやさしい社会をつくる

① スパイリエン州タナオコミュニティにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身取引および児童労働防止事業

◇ 主な助成・寄付：今井記念海外協力基金、WE21 ジャパン、NTT 労働組合西日本本部、サッポロビール労働組合、浄土宗平和協会、セカンドハンド、大竹財団ほか。

【概要】

- タナオコミュニティにおいて、児童労働や人身取引の被害にあっている子どもたちの保護者である地域住民の生計を農業技術の改善により向上させ、貧困が原因による違法な出稼ぎと児童労働を防止する。
- 子どもたちと親や住民に対して子どもの権利と教育への理解を深める啓発活動を推し進め、出稼ぎによって学校に行くことができない子どもたちが学校に行くことができるようにする。

• 啓発活動

タナオコミュニティの4つの小・中学校からピア・エデュケーター（子ども代表）を選出、シーライツの職員の指導のもと、学校や家庭、地域でのピア・エデュケーション（子どもから子どもへの知識の伝達）活動を実施した。子ども同士が助け合い、互いに学んだり、地域を良くすることをめざし、タナオコミュニティの4ヵ村で、地域を拠点として活動する「子どもクラブ」を結成した。シーライツと地域のキーパーソンが協力して、子どもの権利普及や違法な出稼ぎの危険を知らせる教材「フリップチャート（紙芝居）」を制作した。地域の子どもと保護者、教師、キーパーソンを招いて、子どもの教育に関する権利フォーラムを実施したり、教師・地域住民間の学校教育についての話し合いをもち、教育の重要性を確認した。

• 生計向上支援

キーファーマー（農民代表）に対して、シーライツの職員が稲作や野菜栽培、有機肥料の生産、土壌の改良、などの農業技術を指導したり、違法な出稼ぎや子どもの権利についての啓発活動を行った。特に野菜生産に力を入れるグループを結成し、他州で成功している野菜生産者を訪問、学んだ知識をもとに、住民同士が協力して野菜を生産することで収入を向上させる活動計画を策定した。同時に農業全般を通じて安定した生計を立てられるようになるために、住民主体の農業組合を結成した。

・ チャイルド・フレンドリー・スペースのためにコミュニティセンター建設

2014年春の完成予定のコミュニティセンター建設に着手し、建設後のセンター管理・運営委員会メンバーの選出などを住民とともにすすめた。コミュニティセンターには、チャイルド・フレンドリー・スペースとして、図書室を兼ねた子どもの学習室とアクティビティ・ルームが設置され、子どもたちが、おとなに見守られながら、本を読んだり、勉強や活動したりすることができるようにすることを計画。(コミュニティセンターには、農業組合により事務所と野菜の出荷スペースも設置。)

【成果】

- ▶ 子どももおとなも、地域全体がよくなることをめざし、子ども同士・住民同士助け合う意識が生まれてきた。
- ▶ 地域の「子どもクラブ」の結成により、学校に通う子どもたちが学校をドロップアウトしてしまった子どもたちに対してどのように手助けしたらいいかを考えられる場がつけられた。
- ▶ 懸案だった啓発教材不足を質の高い紙芝居(フリップチャート)作成という形で解決することができた。
- ▶ これまでの生計向上支援が実を結んで、農業組合が発足し、違法な出稼ぎに行かなくても地域で生計を営むことができる可能性が広がった。

②保育事業 パートナー団体：アフエシップ・フェア・ファッション (AFESIP Fair Fashion)

◇主な助成・寄付：尚綱学院大学

- ・保育担当者人件費、幼児の食事・飲料水などの購入費、通学サポート費などを支援。
- ・合計14人の子どもたちに保育サービスを提供。

【成果】

子どもたちが母親のそばで安心して楽しく過ごせる幼児期を過ごすことができた。人身取引の被害に遭った女性たちが経済的自立に向けて集中して洋裁の仕事に取り組むことができた。

子どもたちの中には、小学校に入学した児童も増え、保育室では、勉強面のサポートも取り入れるようになった。

③過去に建設した学校のモニタリング

◇8月、2010年にスバイリエン州チャントリア郡に建設したプラサー小学校分校において適切に教育活動が行われているかを視察した。夏休みであったが、校長先生による補習授業が行われており、児童数も増え、プラサー小学校分校から小学校へと昇格することを確認した。

(2) シーライツトレード・プロジェクト

【売上】

2013年度売上 37,200円

主な販売実績

日付	内容	場所	売上
10/19-20	尚綱学院大学学園祭	尚綱学院大学	4,850円
通年	その他イベント、ニュースレター、HP		32,350円

【仕入】

シーライツ・パートナーNGOである、アフゼシップ・フェアファッション、フレンズで生産・販売されている商品のほか、カンボジアの女性や障害者を支援するNGOが制作・販売する商品を購入。

3. 開発途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

(1) 報告会・ワークショップ開催

①報告会・ワークショップ等

日付	名称	会場	参加人数
5/11(土)	カンボジア駐在員・一時帰国報告会	大竹財団	29名
11/17(日)	子どもの権利条約フォーラム分科会	国立オリンピック記念青少年総合センター	16名
	「カンボジアの子どもたちの悩みとアクション～この夏、見てきたユースから聞いてみよう！」 「子どもの権利から考えるふくしまと世界の子どもたち」		28名

②講師派遣

日付	名称	講師・報告者	主催
5/12(日)	カンボジアにおける子どもの人身売買・児童労働防止プロジェクト報告会	カンボジア 上田美紀	サッポロビール労働組合
5/14(火)	カンボジア「子どもの人身売買・児童労働防止プロジェクト」報告会	カンボジア 上田美紀	WE21 ジャパン こうほく(神奈川)
5/15(水)	カンボジア「子どもの人身売買・児童労働防止プロジェクト」報告会	カンボジア 上田美紀	WE21 ジャパン 都筑(神奈川)
5/30(木)	『チャイルド・プロテクション・ポリシー』学習会	甲斐田代表理事	メコンウォッチ、他
6/23(日)	カンボジアの女性と子どもたち	甲斐田代表理事	レナセール女性とともに歩む会
8/21(水)	カンボジア「子どもの人身売買・児童労働防止プロジェクト」報告会	カンボジア 上田美紀	WE21 ジャパン ちがさき(神奈川)
9/18(水)	「子どもたちの“今”と私たちにできること」	甲斐田代表理事	尚綱学院大学
10/6(日)	世界で安全・安心なコミュニティづくりに貢献する女性たち	甲斐田代表理事	横浜市栄区
10/31(木)	グローバル教育セミナー「グローバル時代における子どもの貧困と権利」	甲斐田代表理事	宇都宮大学
3/8(土)	カンボジア「子どもの人身売買・児童労働防止プロジェクト」報告会	甲斐田代表理事	WE21 ジャパン 伊勢原(神奈川)

③訪問受入れ

日付	団体・学校名	対応者	内容
8/30(金)	大阪大谷大学 引率者・学生 合計8名	カンボジア 上田美紀	カンボジアにおける活動
8/29(木) 8/31(土)	文京学院大学 引率・学生 合計8名	カンボジア 上田美紀 ペン・ブントゥーン	カンボジアにおける活動
2/24(月) 2/25(火)	NTT労働組合西日本本部 合計11名	カンボジア 上田美紀	カンボジアにおける活動 タナオコミュニケーション訪問

日付	団体・学校名	対応者	内容
3/5 (水)	神奈川大学 引率者・学生 合計 33名	カンボジア 上田 美紀	カンボジアにおける活動

(2) 広報

①会報

プロジェクトや活動の状況の報告、子どもの権利を普及する目的で、会報 82、83、84 号を平均 500 部発行し、会員、寄付者、関係者などに配布した。

②取材

日程	掲載紙	内容
11月	TRANSIT	カンボジアの女性の法、男性の法について

その他、依頼に応じて随時対応。

③執筆・投稿

発行日	掲載誌・掲載本	内容
4月	「子どもと開発」 牧田東一編著『国際協力のレッスン—地球市民の国際協力論入門』学陽書房	世界の子どもの状況を子どもの権利の視点から解説 (甲斐田万智子)
12月	「アジアにおける子どもに対する暴力の防止・禁止に向けて」 荒牧重人・喜多明人・森田明美編『子どもの権利アジアと日本』三省堂	アジアにおける子どもに対する暴力の防止・禁止についての状況 (甲斐田万智子)

④インターネットを通じた情報発信、ブログ

毎月末にメールアドレス登録者にメールマガジンを配信。HP のブログ、ツイッター、フェイスブックなど、ソーシャルメディアネットワークを通して最新情報を発信し、これによるイベントの参加を促進した。

(3) 出版・制作

これまでに出版した書籍などをブース出展時やウェブ上で販売した。

(4) スタディツアー

第1回目

期間	2012年2月17日(月)～2月23日(日) 5泊7日 12名
訪問内容	カンボジア(スバイリエン、プノンペン、シエムリアップ) シーライツ事業地視察、現地パートナーNGOの訪問、プロジェクトの視察、観光

1/18(土)に事前研修会を開催。ツアー報告を会報(85号)に掲載予定、HPのカンボジアだよりに掲載。

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

(1) 子どもの権利促進事業

「子どもの権利条約フォーラム 2013」 企画・運営

1993年から毎年、全国各地で開催されている「子どもの権利条約フォーラム」が、2013年は、東京で開催され、シーライツはその実行委員(甲斐田代表理事=副実行委員長)として、フォーラムの企画・運営に携わった。実行委員会、および、幹事会には渡邊理事がほぼ毎回参加したほか、当日のパンフレットを編集・作成した。「子どもの権利条約」の実施・普及や子ども支援に取り組む個人やNPO団体、自治体と協力・連携しながら、すすめた。

また、2日目には、カンボジア事業地の子どもの現状と問題解決に向けた子どもたちの取組みを紹介する分科会と、福島原発事故後、放射能汚染から子どもたちを守る母親たちの活動を、子どもの権利の視点から考える分科会を企画。

日付	名称	参加人数
11/16 (土) 17 (日)	子どもの権利条約フォーラム 2013 リレートーク、シンポジウム 各分科会	のべ 400 名
11/17 (日)	分科会①「カンボジアの子どもたちの悩みとアクション～この夏、見てきたユースから聞いてみよう」	16名
11/17 (日) 午後	分科会②「子どもの権利から考えるふくしまと世界の子どもたち～子どもの権利条約は放射能とたたかうお母さんの"武器"になるか？」	28名

(2) チャイルド・ライツ・プロジェクトの準備

子どもの権利を普及するため、シーライツ・ユースによる「チャイルド・ライツ・プロジェクト」開始のためにミーティングを重ねて企画した。

(3) 東日本大震災子ども支援

2011年11月に実施した福島の子どもたちとの交流会で子どもたちが描いた絵を関東の高校生のグループ・Youth United が缶バッジにしてイベントなどで販売。その売上金はシーライツを通して子どもたちを放射能から守る福島ネットワークに寄付され、NPO法人シャロームが主催する福島の子どもたちの保養プロジェクト（フランス）に役立てられた。

(4) チャイルドセーフ・ネットワーク・キャンペーン事業

2010年度に発行したカンボジアのNGO・フレンズ制作のチャイルドセーフ・トラベラーガイド日本語版を引き続き、日本国内とカンボジアで日本人旅行者へ向けて配布。旅行中に子どもを守る活動に理解と協力を呼びかけた。配布した場所は、カンボジア大使館（日本）、旅行者が立ち寄りのお店やレストラン、ホテル（カンボジア）。

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

(1) 国際・国内団体とのネットワーク事業

参加ネットワーク団体

- ・(特活)国際協力NGOセンター (JANIC) の正会員を継続
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・子どもの権利条約フォーラム 2013 実行委員会
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続（甲斐田代表理事が共同代表として）
- ・人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) の会員を継続
- ・「国連子どもの権利委員会に個人が申し立てを出来る制度を作ろう！キャンペーン」を推進するNGOネットワーク継続
- ・東日本大震災子ども支援ネットワークを継続

(2) 関係団体とのネットワーキング

日付	内容
6/2 (日)	「ジェンダーから考える児童労働」(丹羽雅代氏、甲斐田万智子) ※児童労働反対世界デー・キャンペーン賛同イベント/東京ウィメンズプラザ
6/2 (日)	「めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2013」 ※児童労働反対世界デー・キャンペーン賛同イベント/御堂筋（大阪）

6/29	カンボジア市民フォーラム連続セミナー『カンボジア』のリアル現代史を語る：1980年以来の現場活動体験から」参加（甲斐田）
5/8,12/16,2/12,3/26	カンボジア市民フォーラム世話人会（甲斐田）
4/23、5/12、6/16、9/17、10/17、10/30。 幹事会は、4月以降7回参加。	子どもの権利条約フォーラム2013実行委員会、および、幹事会参加（渡邊、甲斐田）
日付	内容
5/12	子どもの権利条約ネットワーク「あなたの声をみんなで聴きます」（甲斐田、好光、渡邊）
2/27	東日本大震災子ども支援ネットワーク運営委員会（甲斐田）

その他、依頼や要請に随時対応。

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

(1) 8回理事会を開催し、理事会メーリングリストで月平均17回協議・情報交換を行った。

4/20（土）	第29回理事会 開催場所：東京事務所 議題：2012年度事業報告案、2013年度事業計画案ほか
6/2（日）	第30回理事会 開催場所：東京ウィメンズプラザ 議題：事務局長の任命ほか
8/12（月）	第31回理事会 開催場所：東京事務所 議題：代表の任命
9/23（月）	第32回理事会 開催場所：東京事務所 議題：5ヵ年計画、カンボジア事業ほか
11/3（日）	第33回理事会 開催場所：東京事務所 議題：カンボジア事業
12/1（日）	第34回理事会 開催場所：東京事務所 議題：カンボジア事業
1/5（日）	第35回理事会 開催場所：東京事務所 議題：カンボジア事業、2014年度国内活動
3/9（日）	第36回理事会 開催場所：東京事務所 議題：2014年度事業計画（国内、カンボジア）

(2) 各事務所の組織運営

東京事務所	会計総務のスタッフと広報スタッフが事務作業（会員管理、会計、問合せ対応、助成金申請、総務労務、広報、シーライツトレード事業等）を分担。
カンボジア事務所	日本人スタッフ1名、カンボジア人スタッフ2名で業務を遂行。フィールドオフィスをスバイリエン州コンボンロー郡タナオコミュンに据える。

(3) 資金調達

①助成金

[採択]

団体名・助成金名	金額	助成内容
大竹財団	45万円	子どもの権利普及のための教材制作（カンボジア）
WE21 ジャパン各支部	104万円	カンボジア事業（スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業）
今井記念海外協力基金	100万円	カンボジア事業（スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業）

浄土宗平和協会・平和念仏募金によるNGO支援助成	60万円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
--------------------------	------	--

[不採択]

団体名	申請内容
外務省(JOCA委託)	NGOインターンプログラム

②団体大口寄付(10万円以上)

寄付者	金額	指定寄付内容
尚綱学院大学	24万円	カンボジアの人身売買・性的搾取被害女性の自立支援のための保育事業(AFF)
セカンドハンド	300万円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
サッポロビール労働組合	222,232円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
WE21 ジャパンこうほく	190,620円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)
NTT労働組合西日本本部	500,000円	カンボジア事業(スバイリエン州/出稼ぎによる子どもの人身取引・児童労働防止事業)

③会員

2013年度会員総数 個人会員108名+団体会員2

内訳

正会員合計 (前年比)	一般正会員	学生正会員	子ども正会員	
52 (3%減)	51	1	0	
賛助会員合計 (前年比)	一般賛助会員	学生賛助会員	子ども賛助会員	団体賛助会員* (口数)
58 (43%減)	55	1	0	2 (2口)

- ・正会員はほぼ横ばい、賛助会員は一般賛助会員、学生賛助会員数ともに減少
- ・団体賛助(法人)会員は、特定非営利活動法人アユース仏教国際協力ネットワーク、特定非営利活動法人WE21 ジャパン旭
- ・2010年4月より開始した会費の口座振替制度(年1回4月振替)。3月末時点で登録者は35名。

④マンスリーサポーター

2008年に開始した毎月一口1,000円からの寄付金制度。3月末時点で登録者は97名。目標の150名には届かなかった。

⑤古本市

シーライツ・ユースが初めての試みとして都内の大学で、古本リサイクル活動を実施。

(4) 理事・職員研修・危機管理

「セクシュアルハラスメント等を含む人権侵害防止および対策に関する規定」に基づいて理事・事務所職員に対するセクシュアルハラスメント防止の研修(講師:丹羽雅代氏)を実施。

以上